

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第51週の発生動向

### □ トピックス

#### ・インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

インフルエンザの報告数が前週の約3.1倍、2,937人(定点当たり報告数50.6)で、今シーズン初めて流行警報レベル開始基準値(30)を超えた。県内全ての保健所管内で、流行警報レベル開始基準値(30)又は流行注意報レベル基準値(10)を超えている。詳細後述。

### □ 全数報告の感染症 (51 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 1 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：つつが虫病 7 例、レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	日南	70歳代	男	肺結核	全身倦怠感、体重減少
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O115(VT1)
4類	つつが虫病	宮崎市	70歳代	男	—	刺し口、発疹、倦怠感、食欲不振
			70歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		日南	70歳代	男	—	頭痛、発熱、発疹
		小林	60歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		高鍋	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
レジオネラ症	延岡	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	50歳代	女	腸管アメーバ症	粘血便、腹痛
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	都城	70歳代	女	—	肝不全、腎不全、DIC、全身性紅斑性発疹
	梅毒	宮崎市	10歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
		都城	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、硬性下疳、梅毒性パラ疹
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹、外陰びらん

※次回の感染症週報は、年末年始のため1月9日発出となります。

## □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は3,721人(定点当たり72.1)で、前週比197%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【インフルエンザ】

報告数は2,937人(50.6)で、前週比307%と大幅に増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(11.1)の約4.6倍であった。中央(83.0)、延岡(71.6)、高鍋(61.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

#### 【新型コロナウイルス感染症】

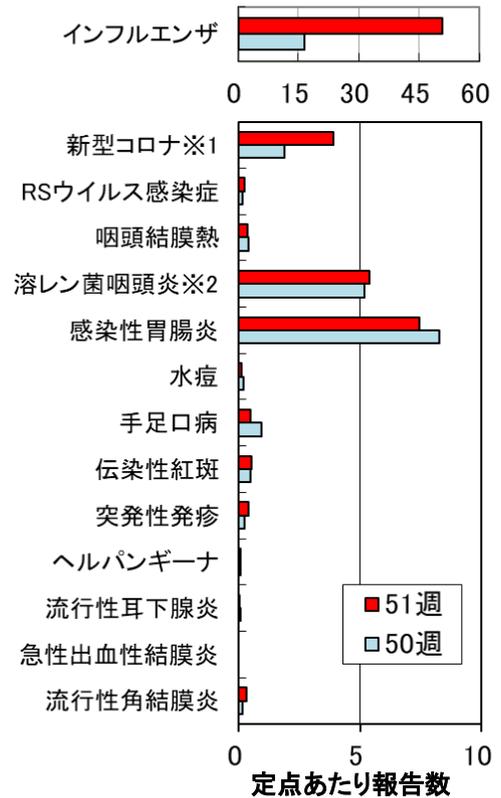
報告数は225人(3.9)で、前週比208%と増加した。延岡(10.0)、中央(6.0)、日向(4.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は60歳以上が全体の約4割を占めた。

#### 【感染性胃腸炎】

報告数は268人(7.4)で、前週比90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(14.0)の約半数であった。中央(15.0)、高鍋(12.0)、小林(11.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から6歳が全体の約6割を占めた。

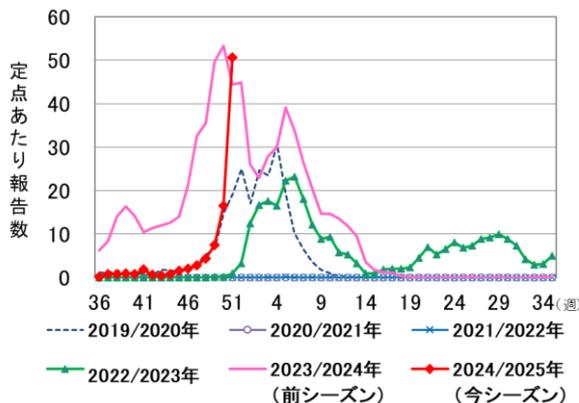
\* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》

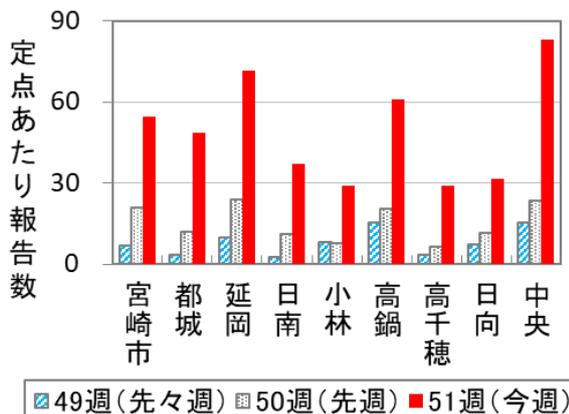


※1 新型コロナウイルス感染症  
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

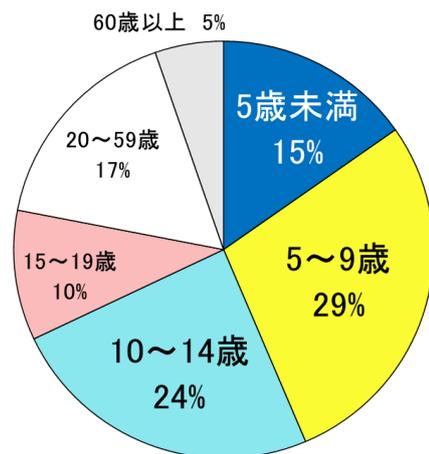
### インフルエンザ 発生状況



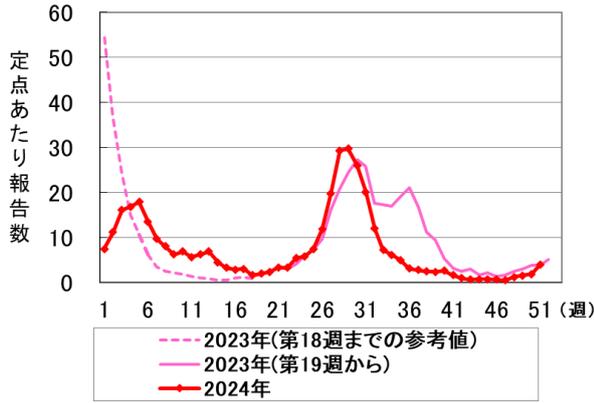
### インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



### インフルエンザ年齢群別グラフ(第51週)

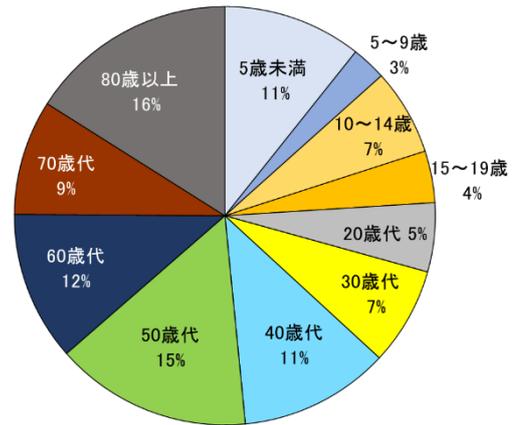


新型コロナウイルス感染症 発生状況

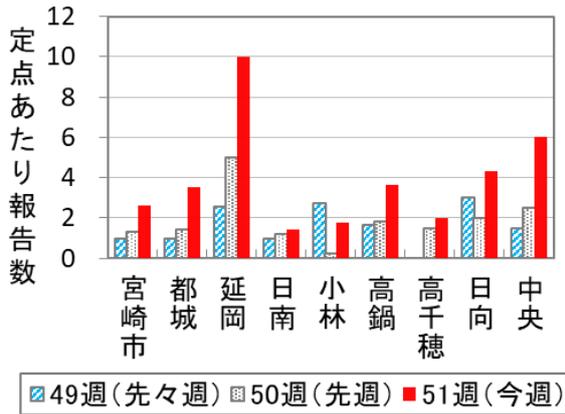


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

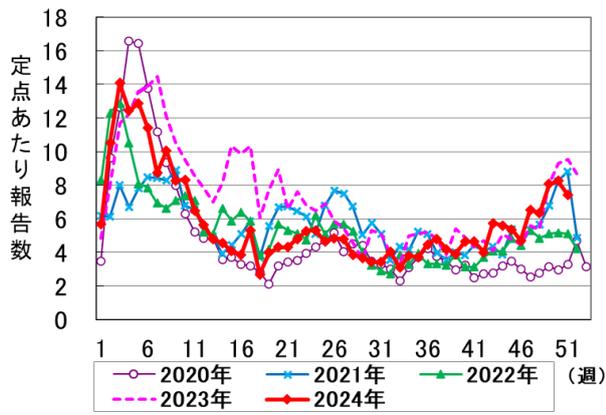
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第51週)



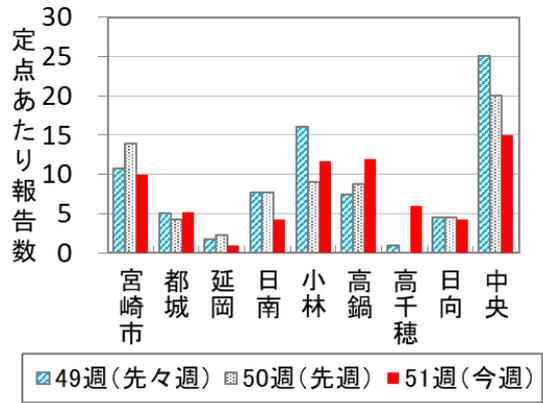
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は15例(定点当たり2.1)で、前週比約1.1倍と増加した。日向(6例)、宮崎市(5例)、延岡(2例)、高鍋(2例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が6例、10～14歳が5例、0～4歳が3例、30歳代が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(54.5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.0)
都城	インフルエンザ(48.6)
延岡	インフルエンザ(71.6)
日南	インフルエンザ(37.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)
小林	インフルエンザ(28.8)
高鍋	インフルエンザ(61.0)
高千穂	インフルエンザ(29.0)
日向	インフルエンザ(31.3)
中央	インフルエンザ(83.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、水痘(1.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*  
 ・インフルエンザ(30)  
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

\* 流行注意報レベル基準値\*  
 ・インフルエンザ(10)  
 ・水痘(1)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年12月23日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> (血清型不明)	80歳代	女	2024.11.21	発熱(39.3℃)	尿	2024.12.04
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0~4歳	女	2024.12.02	発熱、水様性下痢、腹痛	便	2024.12.10
<i>Salmonella enterica</i> subsp. <i>enterica</i> (血清型不明)	60歳代	女	2024.11.30	発熱	喀痰	2024.12.16
EHEC(O111:HNM VT1)	0~4歳	女	2024.12.09	なし	便	2024.12.16
EHEC(O111:HNM VT1)	0~4歳	男	2024.12.11	なし	便	2024.12.16

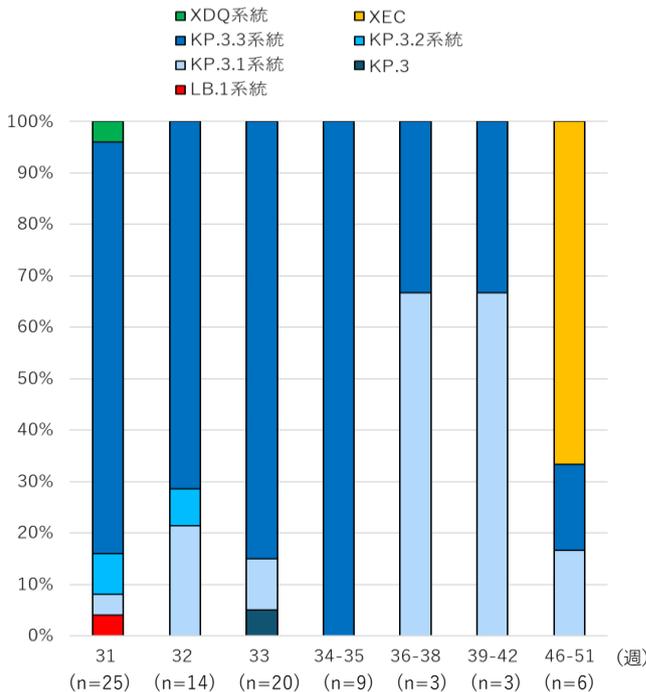
○保育施設において腸管出血性大腸菌 0111 (VT1) の集団感染が発生した。腸管出血性大腸菌は経口感染し、少ない菌量でも家族や保育園等の集団で感染が広がることのあるため、食材の加熱、調理器具の消毒、手洗い等を徹底する必要がある。厚生労働省による「保育所における感染症対策ガイドライン」（2018年3月改訂（2023年5月一部改訂））では、おむつ交換について、①糞便処理の手順を職員間で徹底する。②おむつ交換は、手洗い場があり食事をする場所等と交差しない一定の場所で実施する。③おむつの排便処理の際には、使い捨て手袋を着用する。④下痢便時には、周囲への汚染を避けるため、使い捨てのおむつ交換シート等を敷いて、おむつ交換をする。⑤おむつ交換後、特に便処理後は、石けんを用いて流水でしっかりと手洗いを行う。⑥交換後のおむつは、ビニール袋に密閉した後に蓋つき容器等に保管する。⑦交換後のおむつの保管場所について消毒を行う。などのことが推奨されている。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	男	2024.10.30	インフルエンザA型、37.8℃	咽頭ぬぐい液	2024.12.20
Influenza virus A H1pdm09	50歳代	女	2024.11.11	インフルエンザA型、39.9℃、頭痛、嘔吐、咽頭痛、咳、痰、鼻水、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2024.12.20
Influenza virus A H1pdm09	60歳代	女	2024.11.23	重症インフルエンザ肺炎、37.9℃	気管支吸引液	2024.12.13
Influenza virus A H1pdm09	40歳代	女	2024.12.04	インフルエンザA型、38.1℃、咽頭痛、腰痛、咳	鼻咽頭ぬぐい液	2024.12.23

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

### 新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第46-51週はXEQが約67%、KP.3.1.1が約17%、KP.3.3.3が約17%を占めている。

※XEQはKS.1.1とKP.3.3の組み換え株で、現在、日本、欧米で流行している。ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## 📊 全国 2024 年第 50 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	239 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	46 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	9 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
4類感染症	つつが虫病	38 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	1 例
	ブルセラ症	1 例	レジオネラ症	33 例		
	アメーバ赤痢	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	36 例	急性脳炎	17 例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22 例	後天性免疫不全症候群	9 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	63 例	水痘(入院例)	6 例	梅毒	181 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	5 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	131 例				

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 139%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 94,259 人(19.1)で前週比 211%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(6.8)の約 2.8 倍であった。大分県(37.2)、福岡県(35.4)、鹿児島県(29.0)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 19,233 人(3.9)で前週比 127%と増加した。北海道(11.9)、岩手県(10.5)、秋田県(9.3)からの報告が多く、年齢群別では 60 歳以上が全体の約 4 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 869 人(1.8)で前週比 79%と減少した。愛知県(4.0)、青森県(3.3)、福岡県(2.9)、埼玉県(2.9)からの報告が多く、本県の定点当たりの報告数は 2.0 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第51週(12月16日～12月22日)

疾病名		第50週	第51週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	958	2937	872	486	501	185	115	366	58	188	166
	定点当り	16.52	50.64	54.50	48.60	71.57	37.00	28.75	61.00	29.00	31.33	83.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	108	225	42	35	70	7	7	22	4	26	12
	定点当り	1.86	3.88	2.63	3.50	10.00	1.40	1.75	3.67	2.00	4.33	6.00
RSウイルス感染症	報告数	6	8	1	4				1		2	
	定点当り	0.17	0.22	0.10	0.67	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	13	7				2	1		3	
	定点当り	0.42	0.36	0.70	0.00	0.00	0.00	0.67	0.25	0.00	0.75	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	186	194	110	6	17	30	4	12		6	9
	定点当り	5.17	5.39	11.00	1.00	4.25	10.00	1.33	3.00	0.00	1.50	9.00
感染性胃腸炎	報告数	297	268	99	31	4	13	35	48	6	17	15
	定点当り	8.25	7.44	9.90	5.17	1.00	4.33	11.67	12.00	6.00	4.25	15.00
水痘	報告数	7	4		3							1
	定点当り	0.19	0.11	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	34	18	9	2	1	3	1	1	1		
	定点当り	0.94	0.50	0.90	0.33	0.25	1.00	0.33	0.25	1.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	17	19	8	3	7			1			
	定点当り	0.47	0.53	0.80	0.50	1.75	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	9	14	5	2	3	1	2			1	
	定点当り	0.25	0.39	0.50	0.33	0.75	0.33	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	3	1		2						
	定点当り	0.06	0.08	0.10	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1					1				
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	2	1		1						
	定点当り	0.17	0.33	0.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	14	15	5		2			2		6	
	定点当り	2.00	2.14	5.00	0.00	2.00	0.00	0.00	2.00		6.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～51週 保健所受理分)

2類感染症	結核	106例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	45例(1)		
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	34例(7)	日本紅斑熱	16例
	レプトスピラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5例(1)	ウイルス性肝炎	3例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	5例	梅毒	161例(4)
	破傷風	2例	百日咳	54例
			重症熱性血小板減少症候群	8例
			レジオネラ症	17例(1)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21例(1)
			侵襲性肺炎球菌感染症	16例
			播種性クリプトコックス症	6例

( )内は今週届出分、再掲

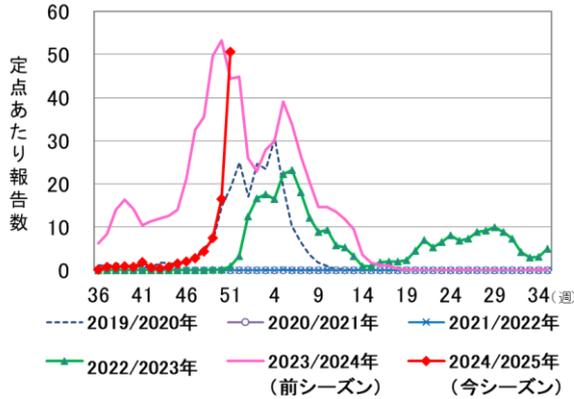
## インフルエンザ情報《県内第51週、全国第50週（再掲）》

### □ 県内第51週インフルエンザ発生動向

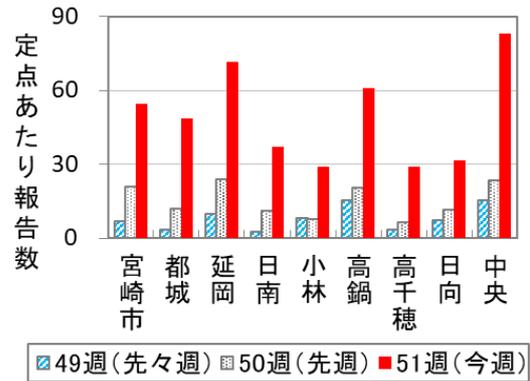
12月16日～12月22日までの1週間で2,937人(50.6)の報告があった。前週比307%と大幅に増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(11.1)の約4.6倍であった。

\* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

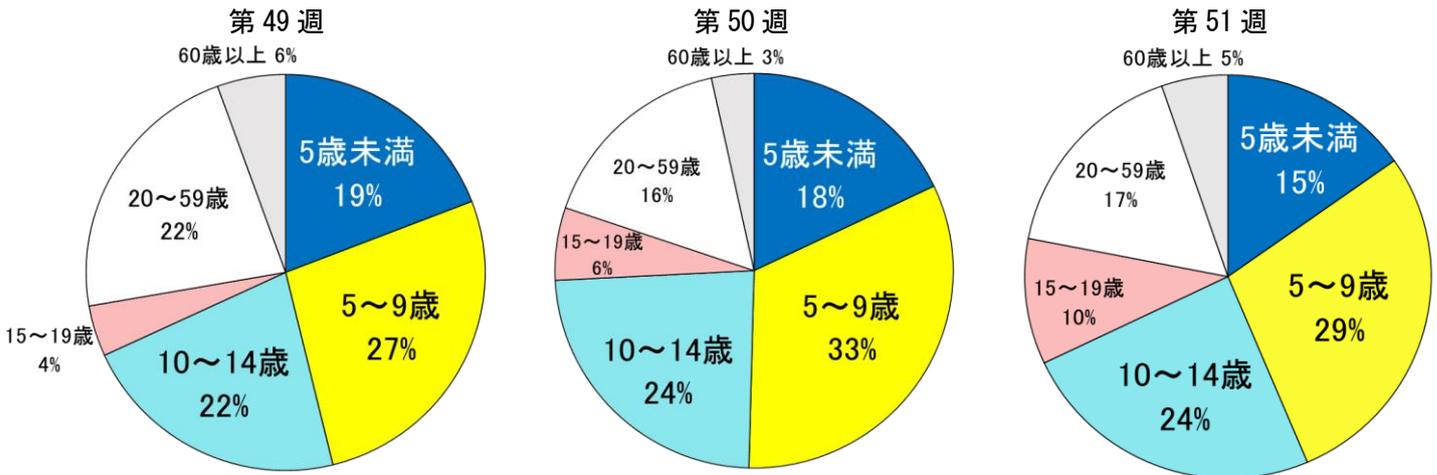
インフルエンザ 発生状況



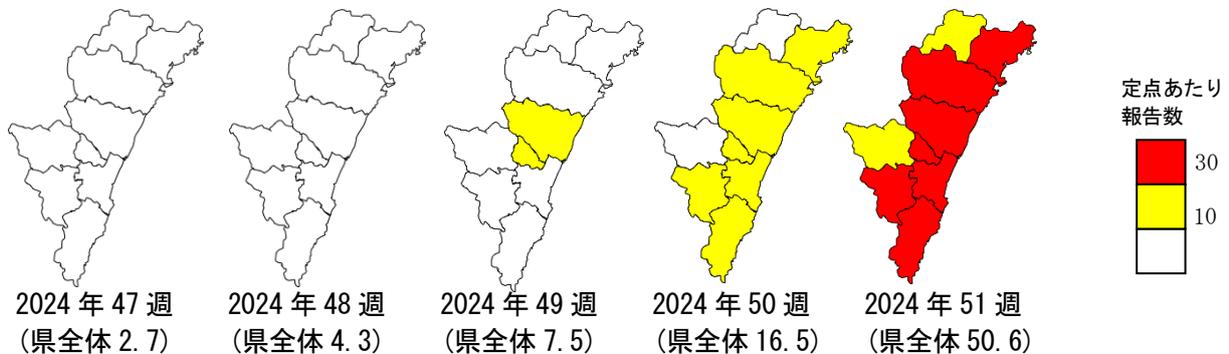
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



インフルエンザ 年齢群別グラフ



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024年第47週～第51週



### □ 全国第50週インフルエンザ発生動向

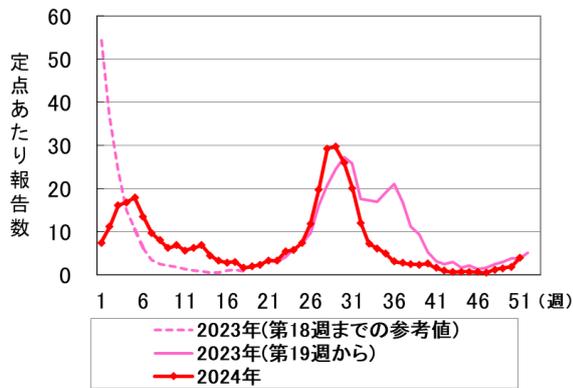
12月9日～12月15日までの1週間で94,259人(19.1)の報告があった。前週比211%と増加し、大分県(37.2)、福岡県(35.4)、鹿児島県(29.0)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の14%、5-9歳が27%、10-14歳が22%、15-19歳が8%、20-59歳が23%、60歳以上が6%であった。

# 新型コロナウイルス感染症情報《県内第51週、全国第50週（再掲）》

## □ 県内第51週 新型コロナウイルス感染症発生動向

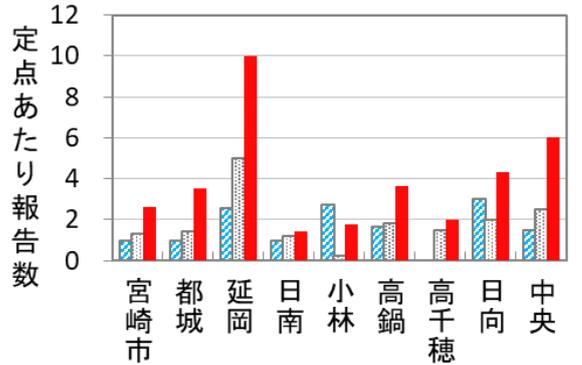
12月16日～12月22日までの1週間で225人(3.9)の報告があり、前週比208%と増加した。延岡(10.0)、中央(6.0)、日向(4.3)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



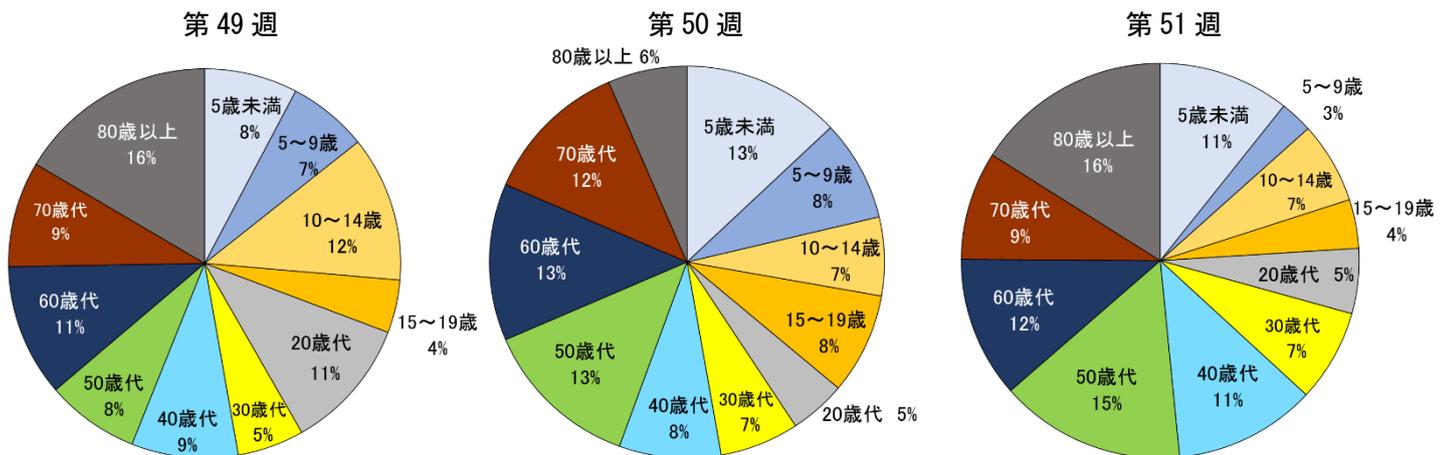
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

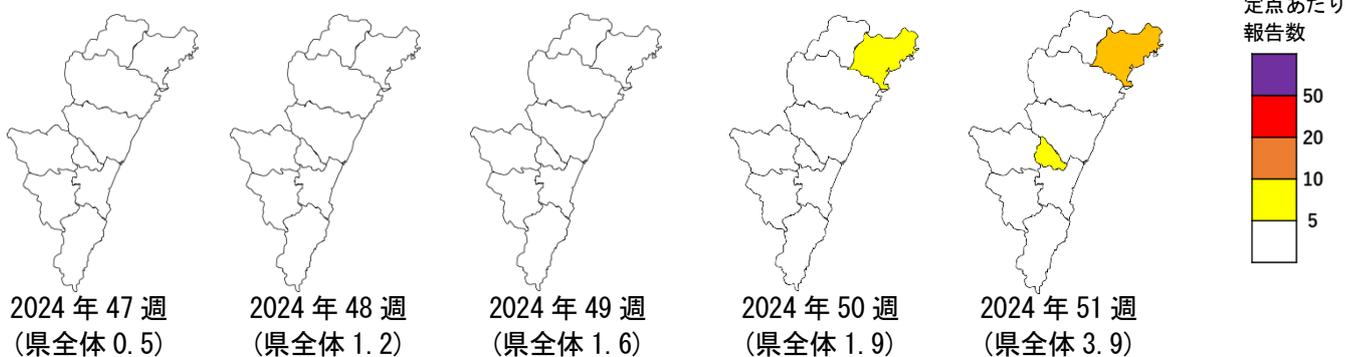


■ 49週(先々週) ■ 50週(先週) ■ 51週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第47週～2024年第51週



\* 県独自の基準によるもの

## □ 全国第50週 新型コロナウイルス感染症発生動向

12月9日～12月15日までの1週間で19,233人(3.9)の報告があり、前週比127%と増加した。北海道(11.9)、岩手県(10.5)、秋田県(9.3)からの報告が多く、年齢群別では60歳以上が全体の約4割を占めた。